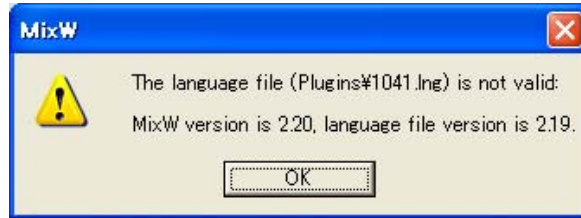


## 「MixW 2.20」 ( Sep -3- 2010)

- \* 起動する途中で「コメント」が表示されます。  
「OK」で「Ver.2.20」がオープンされます



- ・言語ファイル ( Plugins ¥1040 lng ) は、正しくありません。
- ・「MixW のバージョンは 2.20」です。
- ・「言語ファイルのバージョンは 2.19」です。

(注：メニューの日本語表示は、「Ver . 1.19」でできます。)



- \* 「MDB」と「SQL」を持つ「新しいLOG データ・ベース・エンジン」をサポートします。

- ・「パーソナル・データ」・「log ".....」ボタンを参照してください。
- ・「SQL」は、「インターネット接続」によって、下記のような「より詳細な「リモート SQL データベース」を使用できるようにします。

- \* 「新しい高速 CheckSR」  
( サンプルレート有効性のチェック )

- \* 「QSL プリント有効性のアップデート」

- ・「Vista / Windows - 7 との互換性」を持っています

## 「MixW Ver. 2.19」 ( 14-Jan-2009 )

- ・「Rx ウィンドウ」で、「<http://site.net>」や「[mailto : me@server.com](mailto:me@server.com)」のような「URL はハイライト」になっています。  
そして、システムは、「ダブルクリック」することで「メール」を要請します。
- ・「Custom1.dat」と「Custom2.dat」は、「ログレイアウト」に対応するため「ログ枠のリスト」にふくまれています。

- ・これらのファイルのそれぞれは、次のように見られます：

```

8 <---Custom1.dat
-----
1  MODE      (モード)
2  FQRX
3  FQTX
4  DATE      (日付)
5  TIME      (時刻)
6  CALL      (コールサイン)
7  RSTSNT
   ; 8 EXCHSNT
9  RSTRCV
   ; 10 EXCHRCV
14 DOM
11 NAME
12 QTH
   ; 15 COUNTY
16 IOTA
17 MGR
13 NOTES
   ; 18 ENDDATE
   ; 19 ENDTIME
20 LOC
8 <----- end of file
-----

```

- ・「 ; 」で始まる「行は無視」されます。  
例: 「EXCHSNT」「EXCHRCV」「COUNTY」「ENDDATE」「ENDTIME」枠は無視されます。
- ・「ラインの順序」(と、従って欄も)は変更できます。しかし「数値」は変更できません。  
すなわち、「CALL は、常に最初に 6 文字」を持たねばなりません。
- ・次の「CAT システム」を追加しました：
  - ヤエス  
FT-2000, FT-950, FT-9000D, FT-450, FT-1011
  - ケンウッド  
TS-2000, TS-480
  - テンテック  
TentTec RX-350, OMNI-VII, ORION-II
- ・「FT-2000, RC2800, WINROTOR」に対応した「ローター・コントロール」を追加しました。
- ・「FSK441m」と「JT6x」モードの今回のサポートを追加しました。
- ・「ADIF SRX\_STRING」タグを追加しました。
- ・「ログバー」は、「最高 25 行」で、
- ・「インターフェイス・設定・ウィザード」(Configure menu: コンフィギュメニューを参照)は、「リグ・エクスポートインターフェイス(プラス・スタンダード・または Tiny モデル)」で「運用する」ために「Mix Wでの設定を手助け」します。
- ・「MixW2 /setup」コマンドライン選択も、同様に「ウィザード」を起動させます。
- ・「新しいマクロ: <CATTRANSVERTER:shift\_in\_Hz>」  
「異なるトランスバーター; <STARTRECORD2>」で稼働を可能にする。
- ・「サウンド入力チャンネル: <SHOW:RIGEXPERTS>」から「Wave (ウエーブ)」ファイルを書き込む。
- ・接続された「リグ・エクスポート・インターフェイス」の「リストを作る」。
- ・「ハンガリー語」のファイルが追加されました。

(02/NOV/2010 JA6AQV)